

『真光寺川 里親の会』通信

12月号 一通算第 105 号

2009年12月13日

観泉寺周辺の田園！ 真光寺川八景紹介- その7

小 春日和の一日、観泉寺あたりを散策してみました。以前駐在所があった場所から真光寺川の小さなせせらぎの音を聞きながら、わずかに残された里山風景を眺めるともう稲刈りは終わって柿の実が赤い。源流に近いせいか川の水はきれいでつめたい、ここは年1回の水質検査の定点となっています。

畑を横切って観泉寺の参道に入る。この辺は随分前、高橋さんが元気なころ梅を見ながら歩いた記憶があります。相変わらず品のいいお寺で心地よい参道です。驚いたことにこの季節に桜が咲いている。庭木の手入れをしていたご住職に聞くと「四季桜」とのこと、ついでに定番の質問「昔、真光寺という寺はあったのですか」と聞くと由緒縁起のプリントを見せてくれました。それによると曹洞宗

「金光山観泉寺」は大坂夏の陣で戦死したこの地の飯田右馬助昌重の菩提寺で寛永3年（1626年）に開創され、天台宗真光寺廃址に建立されたそうです。

幕 末の真光寺村、広袴村の人口は両村で約380人、67戸とあります。（小島日記）

田園の広がるなか観泉寺も飯守神社も遠くからも目立った寺社だったのでしょう。今や真光寺、広袴の両町で8900人、3400世帯（09年10月現在）と大ベッドタウンに変貌しています。この田園風景の四季をいつまで楽しめるのか、残しておいてもらいたい場所です。



観泉寺辺りの里山風景



飯守神社の大ケヤキ

飯 守神社では町田市名木百選に選ばれた「大欅（ケヤキ）」（幹周 4.6m、高さ 25m）が見事です。「飯守」のほか、「汁守神社」が黒川にあり、ほかに「菜守神社」もあったといいますが定かではありません。「飯、菜、汁」は荘園時代から天領へ、丘陵に囲まれたこの地の五穀豊穡を祈った社であったかもしれません。

三 輪、岡上から真光寺川沿いに多摩府中に抜ける鎌倉街道「早の道」と七国山から小野路を通り府中へ向かう鎌倉古道（上の道）に挟まれた鶴川一帯は人馬の往来の多いところであったでしょう。

寺社を目印に丘陵を越えてきた武士たちが真光寺川で馬に水をやり一休みした能ヶ谷、広袴、真光寺に広がる田園が歴史的にどのように姿を変えていったのか興味をそそられるところです。

三輪の縄文遺跡群、律令時代の防人の道、鎌倉時代の義経四天王たちの往来、そして今は武相荘の賑わいなど、鶴川の長い歴史の移り変わりを映しながら

（文とスケッチ 笠井 重彦記）

真光寺川は流れ続けているのです。

「野津田・丘の上まつり」に参加しました

11

月3日(火) 今年一番の寒い日でしたが、野津田公園やマナラシ広場は大勢の家族連れが集まり、いろいろな団体の出店を楽しんでいます。名物の竹パン、どんぐりもち、野草のてんぷら、共働学舎のやきそば(共働学舎のみんなの元気な声に真光寺川を清流にする会の高橋さんを思い出します)

今回もじゅず玉のプレスレット(10円) ネックレス(20円) お手玉(30円) と子ども達が自由に買えるようにし、1000円チョットの売り上げを会に届けました。

今回もじゅず玉を知らない人が多く「これはなんですか?」「町田にもありますか?」「これは貝ですか?」「糸を通す穴を開けるの大変」など、そのつど優しく対応しました。

子ども達は針を持つのも初めての子も多く、みんな真剣、根気よく、時間をかけて出来上がりをうれしそうに身につけていきます。子どもの時に一度でもじゅず玉に触れ楽しんでくれることで、大人になっても覚えていてくれるでしょう。これからも若いお母さんや子ども達に自然の物で楽しむ事を伝えていけたらと思います。



じゅず玉のプレスレットを作りました

(文 中村 順子)

『めだかポスト』

「めだかポスト」への寄付、野津田・丘の上まつり収益金、見つめ会や一木会からの寄付を合算して11月は合計1,845円でした。里親の会の活動に対して皆様のご厚志に感謝いたします。

ご厚志を頂くに当って、ご負担をかけない様に「**印字済払込取扱票**」をポスト脇のファイルに入れてあります。「**赤インク印字の払込取扱票**」をご利用頂ければ、**手数料無料**でお振込みが出来ます。また**なるべくATMでの振込み**をご利用ください。どうかよろしくお願いいたします。

郵便振替『00150-4-574114』

加入者名『真光寺川里親の会』

私たちの行動基準

1. 私たちの活動は、地元や地域の人たちに支持されているか。
2. 私たちの活動は、自然に対して謙虚であるか。
3. 私たちの活動は、誰にも解るように説明されているか。

1月10日(日)1月の例会は江の島と境川河口域をめぐるります。

1月の例会は新年会を兼ねた散策を準備しました。「真白き富士の嶺、緑の江の島・・・」と歌にあるように江の島は緑豊かな自然の島、しかも一歩入ると歴史の島でもあります。また町田に源を発する境川が55キロほど流れ下って江の島の脇で相模湾に注いでいます。今回は江の島周辺の歴史と豊かな自然の残る地域を散策したいと思います。途中レストランで昼食を兼ね新年会を致します。清流の会の会員・里親の会の皆様そして一般の方々のご参加を歓迎いたします。一緒に散策しませんか。

集合：鶴川駅改札10時0分(時間厳守) 解散：午後2時ごろ 現地解散

また2月の例会は、「旧真光寺川～鶴見川に沿って寺家～市が尾」の散策を予定しています。

『<http://www.shinkojigawa.com/>』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川1-10-13 Tel/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴3-24-11 山本隆治 Tel/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp